



# スマートコントローラ『Ecokit LX』 による電力監視&制御システムの ご案内 (Type:DC-デマンド監視用)

日本コンピューターテクノス株式会社



2021年2月

# 「Ecokit LX Type:DC」 デマンド監視タイプ でなにができる？

電力量計からの電力量パルスをコントローラ本体に引き込んで・・・



## ● 標準機能でできること

1. 使用電力量を「見える化」してブラウザで表示・・・P2

2. 30分ごとの電力デマンド値をしっかり監視・・・P4

3. 電気の使いすぎを予測して警報を出力・・・P6

4. 週間、月間の日別使用電力量を表示・・・P8

5. デマンド警報メール送信・・・P9

6. その他の標準機能・・・P9

## ● 拡張機能・カスタマイズでできること

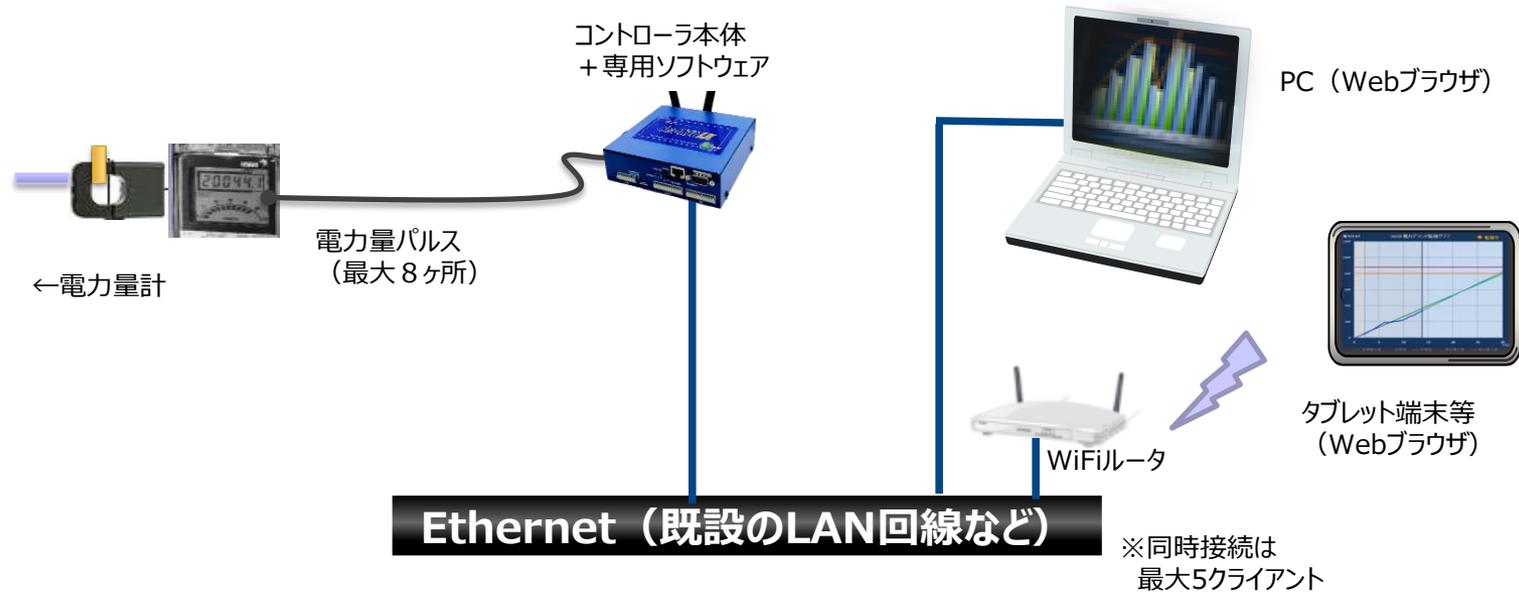
7. デマンド警報に応じた省エネ制御・・・P11

8. その他の拡張機能・・・P10

9. さらにソフトウェアのカスタマイズでできること・・・P11

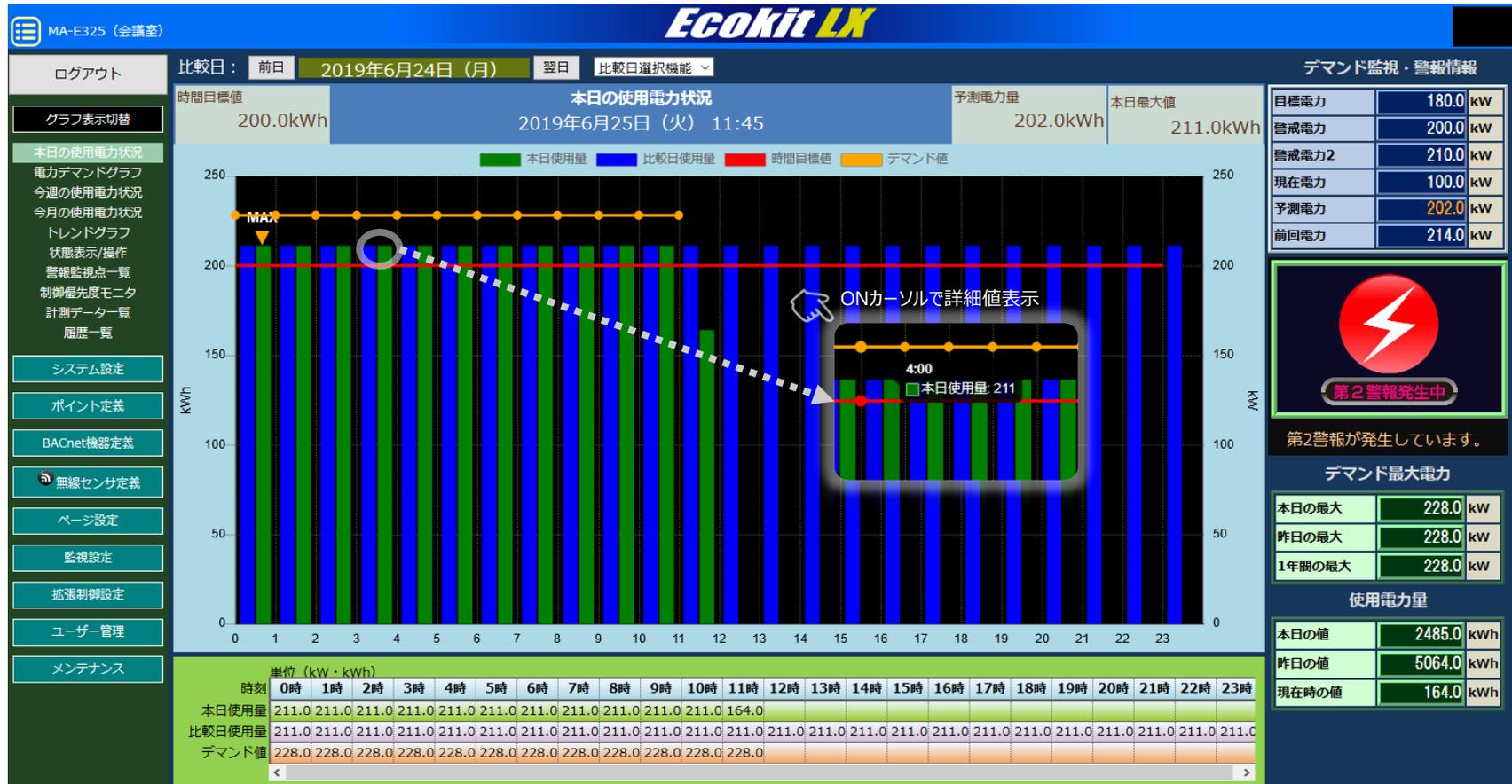
# 1. <標準機能> 使用電力量を「見える化」してブラウザで表示

- ・電力量計からのパルス信号をコントローラが受け取り、LAN経由でPCやアンドロイド端末のWebブラウザに時間ごとの総電力量をグラフ表示します。
- ・毎分のデータ（パルス電力量、差分電力量、デマンド予測値）をCSV形式でメモリに保存しますので別途解析の際にも役立ちます。
- ・コントローラ本体 1 台で最大 8ヶ所分の電力量パルス入力が可能です（表示は全体の電力総量）。
- ・コントローラへの同時アクセスは 5 クライアントまで OK。
- ・各種設定もブラウザから OK。



**電力「見える化」システム概念図**

# 時間ごとの使用電力量表示画面



- ・1時間ごとの消費電力量の棒グラフを、比較日と並べて表示します（緑：本日のデータ 青：比較日のデータ）。
- ・比較日には2年前までの任意の日を指定できます。
- ・時間ごとの目標値を設定でき（赤ライン）、これを超えると指定の警報装置へ信号が出力されます。

## 2. <標準機能> 30分ごとの電力デマンド値をしっかりと監視

### 【電気料金の計算】

高圧受電のユーザー（業務用電力、高圧電力等50kW以上）の電気料金の計算は

基本料金 + 使用電力量料金 + 太陽光発電促進付加金

となっています。電気料金を下げるには使用電力量を少なくすることはもちろんですが、基本料金を下げることも重要です。基本料金は、

料金単価 × 契約電力 × (185 - 力率) / 100

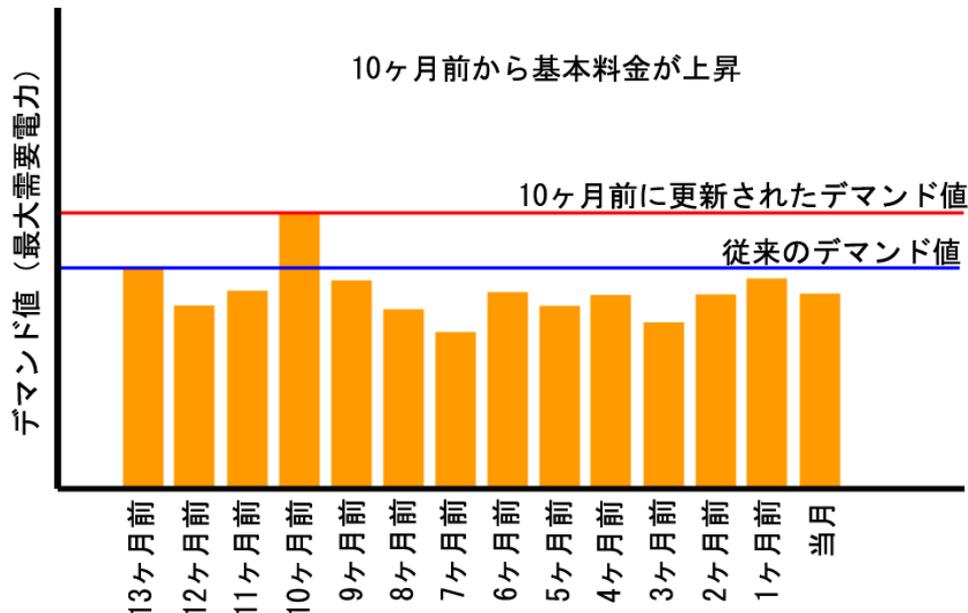
で計算されます。つまり、節電努力によって契約電力を下げることで、基本料金の値下げに大きくつながります。そしてこの契約電力は、過去1年間の最大需要電力（デマンド値）で決まります。

### 【デマンド値とは？】

高圧受電のユーザーに設置される電力量計にはデマンド計が組み込まれています。このデマンド計は、毎正時30分ごとの電気の使用量（= 30分デマンド値）を計測します。1ヶ月を30日とすると、 $48 \times 30 = 1,440$ 個の30分デマンド値が計測されていることとなりますが、このうちの最大の値がその月の最大需要電力 = デマンド値になります。

高圧受電ユーザーのうち500kW未満の場合、当月を含む過去12ヶ月のデマンド値の中で最も大きい値が基本料金の計算基準となります。従って一度でも大きな30分デマンド値が出ると、1年間そのデマンド値が適用された基本料金となってしまいます。

また500kW以上のユーザーの場合は30分デマンド値が契約電力を超えると違約金を支払うことになり、その30分デマンド値をもとに新たに契約電力変更の協議が行われます。



『EcoKit LX』はこの30分デマンド値の最大値が目標を上回らないように監視したり、上回る予測がなされた時に遮断制御をするなど、契約電力をしっかりと管理します。

# 電力デマンド値監視画面



毎正時から30分間ごとの使用電力量について、時間を追って1分単位で計測して折線グラフとして表示します（水色線）。また、スタートから現在時点までの使用電力の状況から、30分時点での使用電力（30分デマンド値）がどうなるかを予測して表示します（水色線の延長の白色線）。

この図では目標電力を40kWに設定しており（黄色線）、30分時点での使用電力量がちょうど目標電力値となる基準電力ライン（緑色線）が表示されています。

この目標となる基準電力ラインと現在使用電力ラインを同時に表示していますので、目標に対する30分デマンド値の状態をひと目で把握することができます。

### 3. <標準機能> 電気の使いすぎを予測して警報を出力

#### 【警報の種類】

#### ①時間ごとの使用電力量警報 = 時間目標電力量超過警報

それぞれの時間ごとの使用電力量に限度値を設定しておく、その時間内の実際の使用量が設定値を超えた時点で警報を発します。

#### ②30分ごとのデマンド値警報 = デマンド警報（3段階）

30分デマンド値があらかじめ設定した値を超えることが予測された時点で警報を発します。警報レベルは3段階で、「目標電力」の設定を超える予測が「第1警報」、「警戒電力」の設定を超える予測が「第2警報」、「警報電力」の設定を超える予測が「第3警報」です。

#### 【警報の出力先】

①ブラウザ画面 ブラウザでの監視画面上には状態を示すアイコンが表示されていますが、その状態によりアイコンが変化します。



- ・①スリープアイコン：デマンド値の予測が目標電力の10%未満の時
  - ・②GOODアイコン：デマンド値の予測が目標電力の10%～50%未満の時
  - ・③OKアイコン：デマンド値の予測が目標電力の50%～100%未満の時
  - ・④第1警報発生アイコン：目標電力を超えるデマンド値予測がなされた時
  - ・⑤第2警報発生アイコン：警戒電力を超えるデマンド値予測がなされた時
  - ・⑥第3警報発生アイコン：警戒電力を超えるデマンド値予測がなされた時
- ・時間ごとの使用電力量が限度値を超えた場合も警報アイコンが表示されます

②DO警報出力 コントローラから警報信号を出力します。警報ランプ、放送設備などを動作させることができます。また、空調室外機の省エネ運転指令など制御端子へ接続して、自動省エネ運転なども可能です。

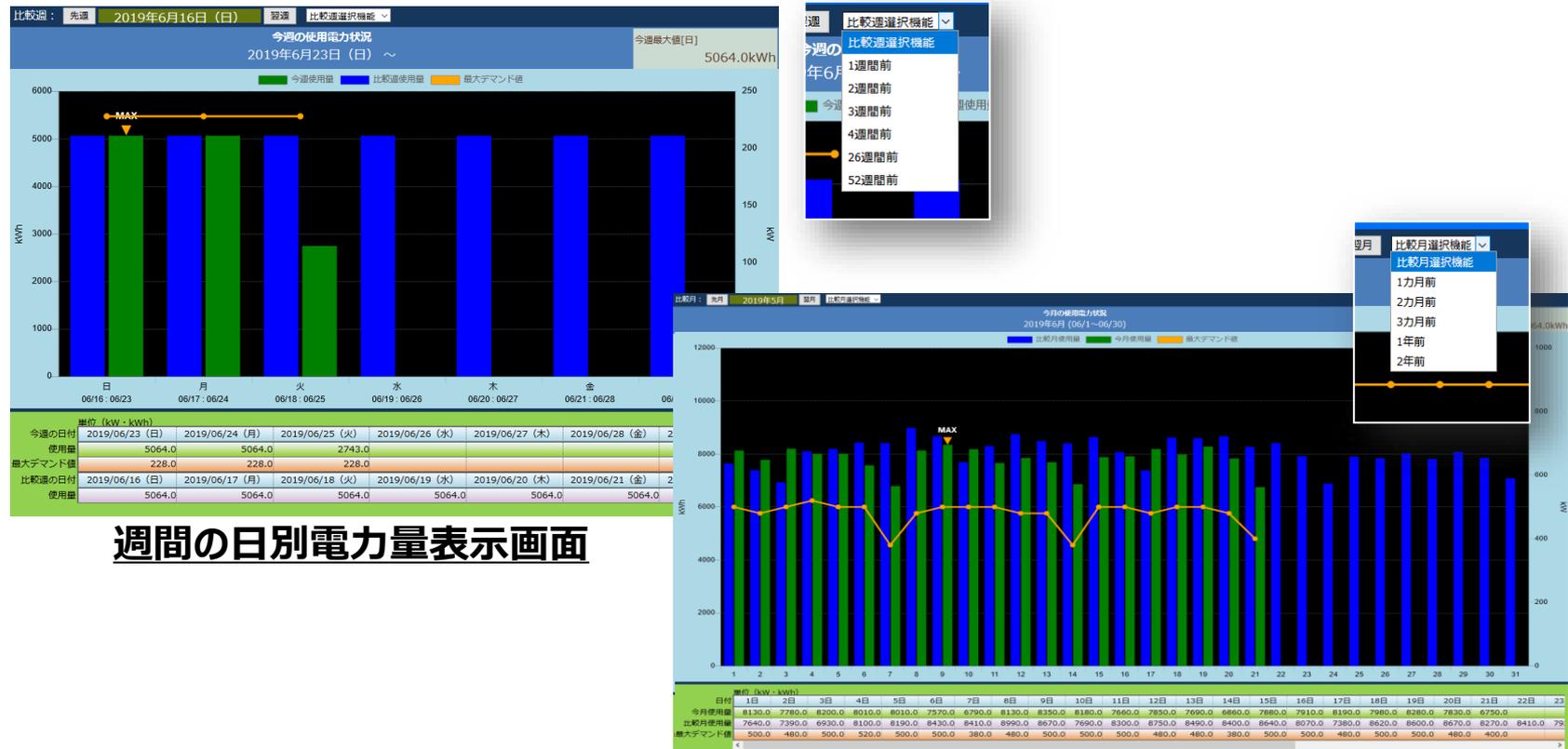


**DO出力による警報機器の制御** (Modbus,BACnet通信I/F機器への制御も可能です。)

③音声出力 監視用PCやタブレットのWebブラウザから直接警報メッセージを流します。



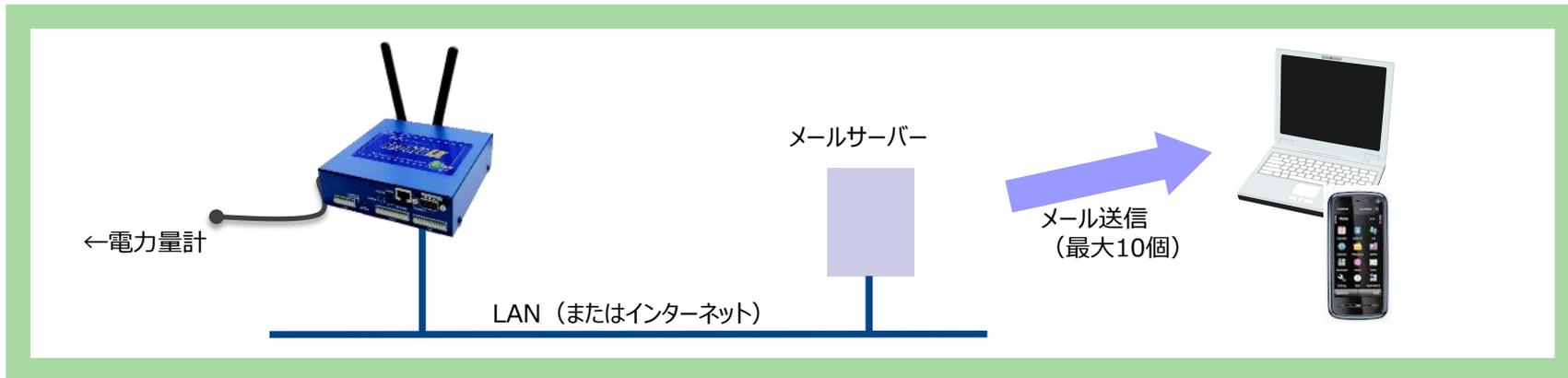
## 4. <標準機能> 週間、月間の日別使用電力量を表示



- ・ 週、月の日ごとの消費電力量の棒グラフを、比較日と並べて表示します（緑：現在 青：比較週/月のデータ）。
- ・ 比較には2年前までの任意の週/月を指定できます。

## 5. <標準機能> デマンド警報メール送信

コントローラからのデマンド警報（第1警報、第2警報、第3警報）を受けて、メールを送信します。



## 6. その他標準機能

### 【MODBUS通信】

- ・MODBUS/RTU(TCP 通信、RS485通信機能) MODBUSでの電力データ入力、制御・警報出力

### 【BACnet 通信】

- ・BACnet/IP クライアント通信機能 下位側BACnet/IP 通信
- ・BACnet/IP サーバ通信機能 上位側BACnet/IP 通信

### 【AI入力機器の入力】

- ・弊社指定の温度計、湿度計、CO2量計、照度計、人感センサー等からの入力と表示・保存

【データダウンロード】Webブラウザから全ての記録データのCSVファイルがダウンロード可能

### 【上位通信機能】

- ・MQTT通信により、上位PCやクラウドサーバにIoTゲートウェイとしてリアルタイムデータ送信が可能

【LTEモバイル通信】LTE通信用SIM(別途必要) セットにより、モバイル通信が可能 (対応型式ハード選択時)

【トレンドグラフ表示】

・全てのアナログ値のトレンドグラフ表示機能 棒グラフ、折線グラフ10画面 最大6点./画面

【状態一覧表示】

・全ての監視・計測値の状態一覧表示機能 10画面 最大32点./画面

温度計、湿度計等      MODBUS/TCP, RS485  
BACnet/IP

No.	状態点名	状態/運転	前回の操作	操作
1	使用電力値	0.0kw		
2	空調機1	OFF	OFF	操作パネル
3	空調機2	ON	ON	操作パネル
4	空調機3	OFF	OFF	操作パネル
5	空調機4	ON	ON	操作パネル
6	空調故障状態	OFF	OFF	操作パネル

例：施設内の温度計、湿度計からのデータを監視・グラフ化、一覧表示

【MODBUSゲートウェイ通信】上位機器へMODBUSスレーブ機器として計測データ送信が可能です。

【BACnetゲートウェイ通信】上位機器へBACnetサーバ機器として計測データ送信が可能です。

【無線センサデータ収集】

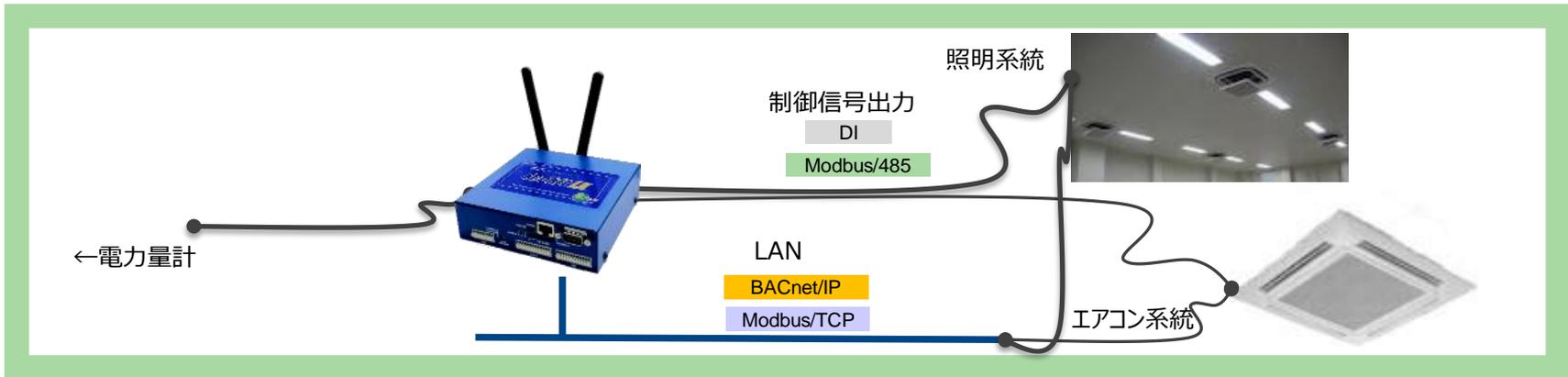
・EcoKit指定920Mhz帯無線センサの接続で、温度、湿度、照度、Co2濃度のワイヤレス計測が可能です。

【仮想点ポイント・演算ポイント機能】

・Python書式で自由に計測値や定数値を使った演算が可能です。 Co2濃度判断や、熱中症指数判断、エネルギー換算などに128点の仮想点が利用できます。

## 7. <拡張制御機能>デマンド警報に連動した省エネ制御

デマンド警報（第1警報、第2警報、第3警報）の発生、復旧を受けて、DO16点+BACnet、Modbus通信でつながる最大500の機器に、任意の制御が可能です。



## 8. <拡張制御機能>その他の拡張機能

### 【遠隔操作機能】

- ・状態一覧画面からの機器の手動操作機能

### 【インターロック機能】

- ・デマンド警報のほか、時刻、状態値、アナログ値、警報値などの判断条件を組み合わせ、任意の判断条件とその合致時に任意の接続機器にON/OFF制御や設定制御ができます。また合致時/非合致時に任意のメール発行が可能です。

### 【当日スケジュール機能】

- ・指定時刻を設定して、任意の機器の自動制御設定が可能です。  
(ON/OFF、リピート、間欠運転可能)



## 9. さらにソフトウェアのカスタマイズでできること

導入環境やお客様のご希望により、ソフトウェアのカスタマイズに応じます。

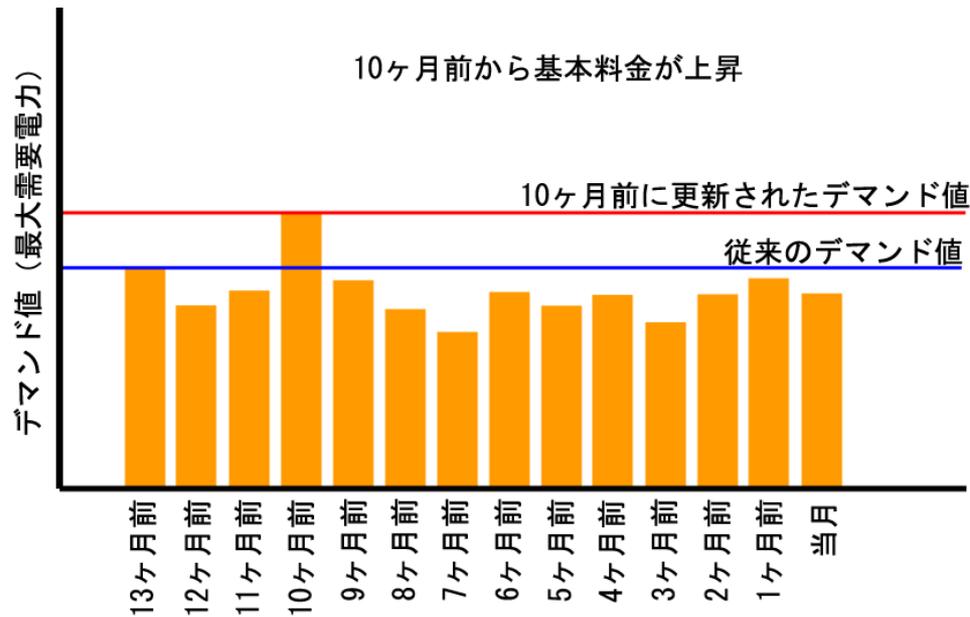
- ・例 1 : 表示画面のカスタマイズ  
使用電力状況を会社受付等のデジタルサイネージで表示するため、会社の C I イメージに合わせた画面デザイン、警報アイコンに変更する
- ・例 2 : 制御出力信号のカスタマイズ  
稼動設備の都合に合わせて節電制御のタイミングやパターンを調整する
- ・例 3 : 遠隔操作カスタマイズ  
照明系統、空調系統など、各負荷をブラウザ画面から ON/OFF 操作をする
- ・例 4 : 開示画面のカスタマイズ  
お客様のご要望に応じたオリジナル操作・表示画面をカスタマイズ開発致します
- ・例 5 : オリジナル機器の接続カスタマイズ  
お客様の必要とされる計測・制御機器との通信機能をカスタマイズ開発、機能追加いたします。  
(通信仕様の開示を頂ける通信仕様に限ります。)

受付やショールーム等で表示して  
省エネへの取組みをアピール



※その他、ご希望がございましたらご相談ください。

## 【資料】 節電効果の参考例



電力会社によって若干の差はありますが、契約1kWあたりの基本料金は1,700円程度となっています。従来の契約電力が400kWの場合、基本料金は約680,000円という事になります。

上図のように、ある月（10ヶ月前）のデマンド値が急に20%上昇し480kWだったとすると、この翌月以降1年間の基本料金は、毎月816,000円となる事が確定し、136,000円値上がりした事になります。

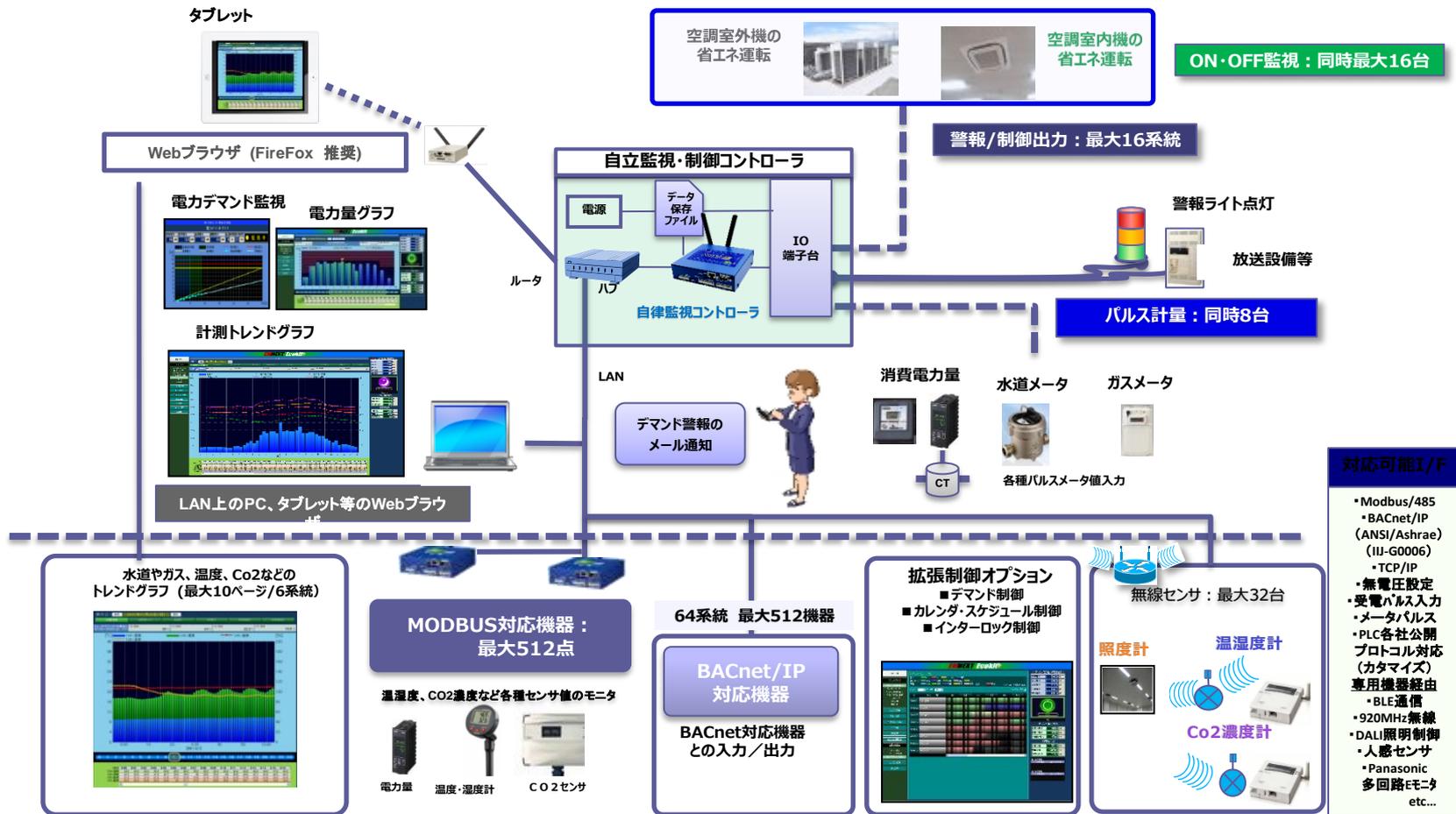
**年間では実に1,632,000円も予定外の基本料金を払う事になります。**こうした一時的なデマンド値を出さないよう、しっかり監視・制御することが重要です。

逆に、現状として普段恒常的には大きな電力を使用していないのに、例えば毎日の始業時など一時的に大きな電力を使っている場合は、これを管理して使用電力量を分散することで大幅なコストダウンが図れます。

# 【資料】Ecokit LX 接続可能インタフェース イメージ図



- 消費電力量を1分毎に計測・長期保存し、デマンド予測警報を各種出力やメールで通知。空調機などの省エネ制御機能あり。
- 水道やガスなどのパルス計測メータ、温湿度、照度、Co2センサ値などの各種センサの接続・計測・自在なWebグラフ表示が可能。
- 全機能の設定・変更、計測データの表示がブラウザのみで可能。遠隔操作もブラウザからおこなえます。



- 対応可能I/F**
- ・Modbus/485
  - ・BACnet/IP (ANSI/Ashrae) (III-G0006)
  - ・TCP/IP
  - ・無電圧設定
  - ・受電パルス入力
  - ・メータパルス
  - ・PLC各社公開プロトコル対応 (カタマイズ) 専用機器経由
  - ・BLE通信
  - ・920MHz無線
  - ・DALI照明制御
  - ・人感センサ
  - ・Panasonic 多回路Eモータ etc...

# 【仕様】EcoKit LX 製品仕様

コントローラ <sup>o</sup>	日本製 マイクロプロセッササーバ RTC 付き <sup>o</sup>
消費電力 <sup>o</sup>	4.5W/10.4W <sup>o</sup>
CPU <sup>o</sup>	Ti Sitara AM3352 (ARM Cortex-A8 core) 1GHz(300~1GHz 自動切換え) <sup>o</sup>
ROM/RAM <sup>o</sup>	NAND FLASH 256~512MB/DRAMDDR3/512~1024MB <sup>o</sup>
Ethernet <sup>o</sup>	10/100/1000BASE-T 2ポート <sup>o</sup>
USB <sup>o</sup>	USB2.0 Host ×1ポート(TYPE-Aコネクタ) <sup>o</sup>
シリアル <sup>o</sup>	RS485(D-SUB9)1ポート <sup>o</sup> RS-232C(RJ-45) 1ポート(メンテナンス用ポート) <sup>o</sup>
SDカード <sup>o</sup>	SDHC 対応 SDカード×1スロット <sup>o</sup>
端子型IO <sup>o</sup>	(小型) <sup>o</sup> なし <sup>o</sup>
	(標準型) <sup>o</sup> 絶縁型アナログ入力ポート×4ch(スクューレス端子台) <sup>o</sup> 絶縁型接点IOポート×DI 8ch/DO 4ch、ルー出力4ch(スクューレス端子台) <sup>o</sup>
	(O 拡張型) <sup>o</sup> 絶縁型アナログ入力ポート×8ch(スクューレス端子台) <sup>o</sup> 絶縁型接点IOポート×DI 16ch、DO 16ch(スクューレス端子台) <sup>o</sup>
モバイル通信 <sup>o</sup>	LTE SIM対応LTE マルチキャリア仕様 <sup>o</sup> 外部アンテナ接続用 SMA コネクタ ×2 <sup>o</sup>
電源(入力電圧) <sup>o</sup>	DC12V ±10% <sup>o</sup>
電源(消費電力) <sup>o</sup>	約4.5W/10.4W <sup>o</sup>
電源(消費電流) <sup>o</sup>	0.3A/0.7A <sup>o</sup>
ACアダプタ <sup>o</sup>	AC100V~AC240V <sup>o</sup>
発熱量(最大) <sup>o</sup>	13.1kJ <sup>o</sup>
外形 <sup>o</sup>	W81.0mm×D137.0mm×H40.2mm/480g (小型) <sup>o</sup>
	W137.0mm×D137.0mm×H40.2mm/680g (標準型) <sup>o</sup>
	W174.0mm×D137.0mm×H41.2mm/900g (O 拡張型) <sup>o</sup>
本体重量 <sup>o</sup>	480g(小型)、680g(標準型)、900g(拡張型) <sup>o</sup>
動作環境 <sup>o</sup>	温度:-20℃~+60℃(CPU 300MHz/Ethernet 100Base-TX時) <sup>o</sup> 湿度:20%~90%(結露なきこと) <sup>o</sup>
基本ソフトウェア <sup>o</sup>	Linux (Kernel3.14以降) ROM起動 <sup>o</sup>
ファームウェア機能 <sup>o</sup>	Pv4ルーティング、スタティックルート設定、PPPoE対応、DHOPサーバ/クライアント、NTPサーバ/クライアント、QoS(優先制御、帯域制御)、DNSクライアント、iptables、シェルスによるコマンド操作(ログイン時認証可能)、GREトンネリング、syslog <sup>o</sup>

## 電力デマンド監視機能<sup>o</sup>

項目 <sup>o</sup>	内容 <sup>o</sup>
電力値パルス入力機能 (DI入力) <sup>o</sup>	DIからのパルス入力により、電力値を精度を要計測し、CSVファイル形式でDBに保存。 最短パルス幅:10msec 最大Dh数:8点 <sup>o</sup>
時間経過監視・グラフ表示機能 <sup>o</sup>	総電力量の目標値比較 (日)、一括出力メッセージ機能 (1時間) <sup>o</sup>
デマンド監視機能 <sup>o</sup>	30分毎のデマンド監視機能 (立ち上がりマスキング機能、2段階デマンド監視機能、プーザー音動検知機能 (PC機能)、デマンド目標値監視機能、メール発報機能) <sup>o</sup>
デマンドグラフWeb表示機能 <sup>o</sup>	デマンドグラフWeb表示機能 <sup>o</sup>
Web画面監視一括監視機能 <sup>o</sup>	Webでの監視・制御・異常監視一括機能 <sup>o</sup>
ロガー機能 (CSV形式) <sup>o</sup>	SDへの電力量/デマンド/日/月、月別電力消費総量/制御・警報の記録機能 (CSVへのCSV出力) <sup>o</sup>
ロガーデータ保存機能 <sup>o</sup>	収集データ/最大2年間※ 日単位データ保存機能 (SD) <sup>o</sup> ※SDカード記憶容量により異なります <sup>o</sup>
デマンド警報Web表示機能 <sup>o</sup>	デマンド警報のWeb表示機能 (予測デマンド値、デマンド目標値、警報レベル、音声通知) <sup>o</sup>
デマンド警報パネル非表示機能 <sup>o</sup>	デマンド警報パネルの表示/非表示切替機能 <sup>o</sup>
Web通知設定機能 <sup>o</sup>	Web対応機能 (デマンド目標値設定、収集10設定機能) <sup>o</sup>
自己監視機能 <sup>o</sup>	セルフチェック/自動再起動機能 (ウォッチドッグ機能)、およびフェイル出力機能、ランプ表示機能 <sup>o</sup>
月間Webグラフ表示機能 <sup>o</sup>	計測電力量、デマンド値、月別総量、日別総量の月分Webリスト表示機能 <sup>o</sup>
週間Webグラフ表示機能 <sup>o</sup>	計測電力量、デマンド値、週間総量、日別総量の週分Webリスト表示機能 <sup>o</sup>

## ECOLIT LV-CS (モニタリング専用版) 機能一覧

■ MODBUS通信機能	・MODBUS/TCP RTUマスタ通信機能 ・MODBUS/485 RTUマスタ通信機能 (最大1回線) 最大 512点
■ BACnet/IP通信機能	・BACnet/IP クライアント通信機能 IEIE-P 0006 対向 最大 512点 ・サブサービス WhoIS/Iam、Read/ReadMulti、Write/WriteMulti
■ 仮想タグ機能	・仮想タグ-実装タグ間での値設定/参照機能 ・仮想タグへの演算式 (四則演算) 設定/実行機能 (参照演算可) ・最大 512点
■ ポイント値収集・出力機能	・アナログ入力/出力/DO/積算/マルチステート及び各仮想点の値収集/出力/リセット機能 (差分値判定機能、レンジング機能付き)
■ 状態一覧表示・操作機能	・状態値/計測値の一覧表示機能 ・出力可能点のWeb遠隔設定操作機能 ・最大128ポイント/画面、最大10画面
■ トレンドグラフ表示機能	・ヒストリカルデータグラフ表示機能 (1分60分/30分/1時間) ※1分=60分間、10分=6時間、30分/1時間=24時間の表示域 ・リアルタイムトレンドグラフ表示機能 (同上) ・トレンドデータ一覧表示機能 ・最大6ポイント/画面、最大10画面
■ 計測/演算データログCSV自動保存機能	・全点の1分毎データのCSVファイル出力 (1日/1ファイル) ・発生ログCSVファイル出力保存 (1日1ファイル) ・FTPサーバ機能でのファイル転送機能 ・HTTPでのファイルダウンロード機能
■ 上位通信機能	・MQTT通信による定周期データ通知 (1分/1時間) ・MQTT通信による発生ログ情報通知 (1分毎) ・上位からのMQTT通信での設定情報リクエストへのデータ返信機能
■ ユーザセキュリティ設定機能	・ユーザID/パスワード設定・変更機能 ・ユーザレベル設定、レベル別操作制限機能
■ 全設定機能Web対応	全操作画面/表示画面Webブラウザ対応 ※HTML5使用
■ MQTT上位通信機能	1分毎データ通知 / 発生ログ情報通知 / 設定情報要求に対する送信通知
■ FTPサーバ機能	FTPクライアント要求に対するファイル送信通知
■ NTP時刻同期機能	SNTPSサーバアクセスによるマシンタイム同期機能
■ 通信設定 (IP他) 変更機能	通信用設定情報の設定変更画面機能
■ メンテナンス用現在値一覧表示	計測開始時チェック用収集現在地表示機能

## 自律制御機能<sup>o</sup>

項目 <sup>o</sup>	内容 <sup>o</sup>
■ 制御グループ設定機能 (インターロック制御/スケジュール制御用) <sup>o</sup>	B0/A0含む最大32グループ、16点/グループ設定機能。一括制御およびポイント別履歴設定可能。インターロック制御、スケジュール制御用。 <sup>o</sup>
■ インターロック制御機能 <sup>o</sup>	任意の条件設定 (全ポイント利用可能 最大16条件) および出力設定 (グループ含む最大32点/設定) による強力な運動制御。ON/OFF、モード、アナログ値範囲、カレンダー、時刻制御と継ぎ合わせ、制御再開、過渡時間などの設定による制御動作が可能。 <sup>o</sup> ポイント値は条件制御時の参照、出力時の出力値としての参照が可能。 <sup>o</sup>
■ イベント運動メール送信機能 <sup>o</sup>	デマンド警報やインターロック制御で運動してのメール発行機能。 <sup>o</sup> 10アドレス以上の送信先設定、運動するイベントに対応させた制御情報メールの反映が可能メール内容設定機能。 <sup>o</sup>
■ スケジュール制御機能 (アナログ対応/開閉制御対応) <sup>o</sup>	グループ生成機能 (一括制御出力が可能単位)、当日スケジュールの設定 (ON/OFF、AI設定等、設定値記憶任意の条件設定 (全ポイント利用可能 最大16条件) および出力設定 (アナログ含む最大32点&グループ設定) による高度な運動制御。 <sup>o</sup>

最短収集周期：  
 アナログ点：5秒周期  
 バイナリ点：2秒周期  
 (対象機器応答速度により変化します)  
 制御判断周期：10秒～60秒  
 保存データ周期：1分

警報監視機能

項目	内容
■ 警報監視点設定機能	DI/AI を対象とした、警報監視点の任意設定、監視値(上下限含む)設定・変更機能
■ 警報監視・警報通知機能	警報監視点設定内容に従い、警報発生/復旧の上位通知、メール発報機能
■ 警報監視点一覧機能	登録された警報監視点の状態、警報状況の一覧表示を行う

オプションパッケージ連携機能

項目	内容
■ 日/月/年報自動生成・保存・印刷機能	JCT製PC用自動レポートパッケージ「EMREPORT NEO」とMicrosoft EXCEL (2013以降) による帳票自動作成機能
■ 特別日カレンダー対応スケジュール設定機能	JCT製EcoKit サーバ機能 (24時間稼働前提サーバ) による、カレンダー特別日設定・スケジュール自動展開ダウンロード・制御機能

品名	機能
型式	
EcoKit Type-LX IoT (IoT-G/W)	<ul style="list-style-type: none"> <li>無線センサ/Modbus-TCP &amp; 485/BACnet-IP デバイス対応</li> <li>DI×16、DO×16 点拡張可能 (ハード型式に依存)</li> <li>AI×8 (16bit) V/A 切り替え拡張可能 (ハード型式に依存)</li> <li>汎用可視化機能/簡易演算機能 ※自動制御なし</li> </ul>
<b>EMN-EC04-LV-AIC</b>	
EcoKit Type-LX DC (電力デマンド監視用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ [IoT-GW用]機能 (EMN-EC04-LV-AIC) に以下の追加機能。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド監視・警報出力機能</li> <li>・電力量使用グラフ機能(日/週/月)</li> </ul> </li> <li>※自動制御機能なし</li> </ul>
<b>EMN-EC04-LV-DCS</b>	
EcoKit Type-LX AIM (自律制御用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ [IoT-GW用] 機能 (EMN-EC04-LV-AIC) に以下の追加機能。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔操作機能</li> <li>・インターロック制御機能//当日スケジュール機能</li> </ul> </li> </ul>
<b>EMN-EC04-LV-AIM</b>	
EcoKit Type-LX ATM (デマンド監視付制御用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ [電力デマンド監視用]機能 (EMN-EC04-LV-DCS) &amp;</li> <li>■ [IoT-GW用]機能 (EMN-EC04-LV-AIC)</li> </ul>
<b>EMN-EC04-LV-ATM</b>	
EcoKit Type-LX BMS (集中監視制御専用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電力デマンド監視用機能 (EMN-EC04-LV-ATM) に以下の追加機能。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・カレンダースケジュール機能</li> <li>・アナンシエータ機能</li> <li>・各種警報監視/一覧機能</li> </ul> </li> </ul>
<b>EMN-EC04-LV-BMS</b>	